
SlimPen

極細ペンスキャナ <スリムペン>

SP7 Series

取扱説明書

Ver.1.1a

対応型番:

SP7UB□□ (USB キーボードインタフェース)
(□□には色名記号が入ります)



はじめに

このたびは極細ペンスキャナ<スリムペン>(SP7シリーズ)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本取扱説明書には、<スリムペン>の外部機器との接続方法および内部パラメータの設定方法について記載してありますので、初めて<スリムペン>を使用する前に必ずお読みください。

ご注意

- (1) 本書の内容の全部または一部を無断で複製することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- (3) 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがございましたら巻末の弊社担当窓口までご連絡くださるようお願い申し上げます。
- (4) 本書に基づいて<スリムペン>を運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず弊社では責任を負いかねますのでご了承くださいようお願い申し上げます。

梱包内容

製品がお手元に届きましたら、すぐに開梱して以下のものが揃っているかご確認ください。

もし、不足・破損などがありましたら、ご購入先の販売店または巻末の弊社担当窓口までご連絡ください。

- ◆ <スリムペン> スキャナ本体 1
- ◆ 取扱説明書(本書) 1
- ◆ 保証書 1
- ◆ ユーザ登録書 1

商標について

Microsoft® Windows®は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他の商標および登録商標は、所有各社に帰属します。

目次

はじめに	1
ご注意.....	1
梱包内容.....	1
商標について.....	1
目次.....	2
セットアップ	5
SP7UB(USB キーボードインタフェース)のセットアップ	5
操作方法	9
読み取るコツ	9
設定手順	10
設定を中止するには.....	10
出荷時設定.....	11
キーボードインタフェースの各種設定.....	11
キーボード種類(国別)設定	11
Caps Lock の設定.....	11
読取動作の設定	12
バーコード間ディレイ時間の設定	12
キャラクタ間ディレイ時間の設定	12
読み取り時ブザー音程の設定.....	13
データフォーマットの設定.....	14
はじめに.....	14
プリフィックス/サフィックスの設定.....	15
設定方法.....	15
データキャリア識別子の付加.....	16
データキャリア識別子とは.....	16
ターミネータ(終端文字)の設定.....	17
読取バーコードシンボル体系の設定.....	19
すべてのシンボル体系	19
JAN/EAN 13 桁.....	19
JAN/EAN 8 桁.....	19
UPC-A	19
UPC-E	19
コード 39	20
コーダバー (NW7)	20
インタリーブド 2 オブ 5.....	20
インダストリアル 2 オブ 5	20
マトリクス 2 オブ 5	20
コード 128	20
コード 93	21
コード 11	21
MSI.....	21
UK PLESSY.....	21
TELEPEN.....	21
コード 32.....	21

JAN/EAN 13 桁の詳細設定	22
JAN/EAN 13 桁.....	22
JAN/EAN 13 桁チェックキャラクタの送信.....	22
アドオンの設定.....	22
JAN/EAN 8 桁の詳細設定	23
JAN/EAN 8 桁.....	23
JAN/EAN 8 桁チェックキャラクタの送信.....	23
アドオンの設定.....	23
UPC-A の詳細設定	24
UPC-A.....	24
UPC-A チェックキャラクタの送信	24
UPC-A 先頭キャラクタの送信.....	24
アドオンの設定.....	24
UPC-E の詳細設定	25
UPC-E.....	25
UPC-E チェックキャラクタの送信	25
UPC-E 先頭キャラクタの送信.....	25
先頭が 0 の UPC-E の読取り	25
先頭が 1 の UPC-E の読取り	25
アドオンの設定.....	26
JAN/EAN/UPC 変換.....	27
UPC-E→UPC-A 変換.....	27
UPC-A→EAN 13 桁変換	27
JAN/EAN 13 桁→ISBN 変換	27
JAN/EAN 13 桁→ISSN 変換.....	27
コード 39 の詳細設定.....	28
コード 39.....	28
フル ASCII 変換.....	28
スタート/ストップキャラクタ (*:アスタリスク)の送信	28
チェックキャラクタ.....	28
コード 39 読取り桁数の設定	29
10 進設定バーコード.....	30
コードダバー (NW7) の詳細設定	31
コードダバー (NW7)	31
チェックキャラクタ.....	31
スタート/ストップキャラクタの送信	31
スタート/ストップキャラクタのフォーマット.....	31
コードダバー読取り桁数の設定	32
10 進設定バーコード.....	33
インタリーブド 2 オブ 5 の詳細設定	34
インタリーブド 2 オブ 5.....	34
チェックキャラクタ.....	34
インタリーブド 2 オブ 5 読取り桁数の設定	34
10 進設定バーコード.....	35
インダストリアル 2 オブ 5 の詳細設定.....	36
インダストリアル 2 オブ 5.....	36
チェックキャラクタ.....	36
インダストリアル 2 オブ 5 読取り桁数の設定	36

10 進設定バーコード	37
マトリクス 2 オブ 5 の詳細設定.....	38
マトリクス 2 オブ 5.....	38
チェックキャラクタ.....	38
マトリクス 2 オブ 5 読取り桁数の設定	38
10 進設定バーコード	39
コード 128 の詳細設定.....	40
コード 128.....	40
UCC/EAN-128	40
コード 128 読取り桁数の設定	40
10 進設定バーコード	41
UCC/EAN 128 出力データ編集機能	42
概要	42
UCC/EAN-128 の AI に括弧を付加して出力	43
UCC/EAN-128 の AI を削除して出力	43
UCC/EAN-128 データ区切り FNC1 出力.....	43
UCC/EAN-128 データ区切り FNC1 を任意のキャラクタへ置換え	44
置換えキャラクタをデータサフィックスに設定.....	44
保守メニュー	45
ファームウェアのバージョン確認.....	45
附属書1. コード 39 フル ASCII 対応表.....	46
附属書2. コード 39 フル ASCII バーコード.....	48

セットアップ

SP7UB(USB キーボードインターフェイス)のセットアップ

(1) ドライバのインストール

SP7UB を初めて PC に接続する際、「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」ドライバのインストールが必要になります。ここでは、Windows98SE での画面を用いて、インストール手順を説明します。他の OS でも、ダイアログ表示が多少異なりますが、ほぼ同じ手順です。

OS によっては、自動でインストールが進む場合もあります。

a) PC に電源を投入し、Windows を起動します。

b) スキャナの USB コネクタを、PC の USB ポートに接続します。

※USB ハブは使用せず、スキャナを直接 PC に接続してください。 USB ハブ経由でもほとんどの場合は使用できますが、環境によっては、スキャナの動作が不安定になったり、動作しなかったりする場合があります。弊社では、USB ハブの使用はサポート外とさせていただいておりますのでご了承ください。

c) スキャナのブザー(ケーブル途中の楕円形の部分)が鳴ります。

※ブザー音がまったく鳴らなかった場合は、一旦 PC の電源を切り、ケーブルの接続を確認してやり直してください。それでも状況が改善されない場合は、巻末に記載の弊社担当窓口までご連絡ください。

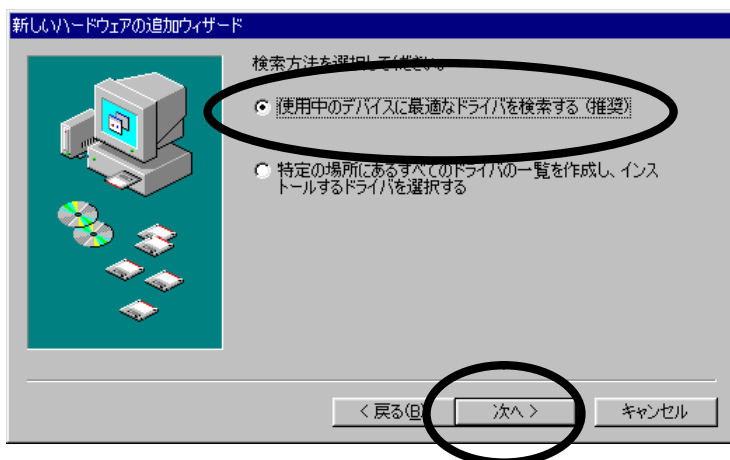
d) PC のディスプレイ画面に「新しいハードウェア」のダイアログが数秒間表示された後、「新しいハードウェアの追加ウィザード」のダイアログが表示されます。

※OS によっては自動でインストールが進む場合もあり、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合もあります。その場合は、手順 j) に進み「デバイス マネージャ」を確認してください。

e) 「次へ」ボタンをクリックします。

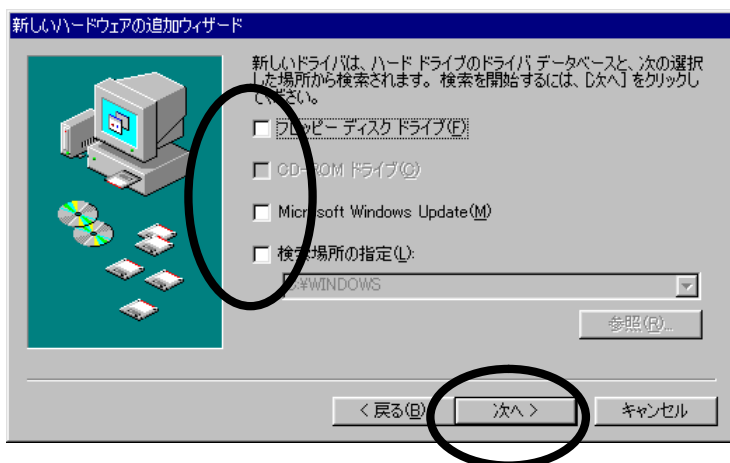


f) 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

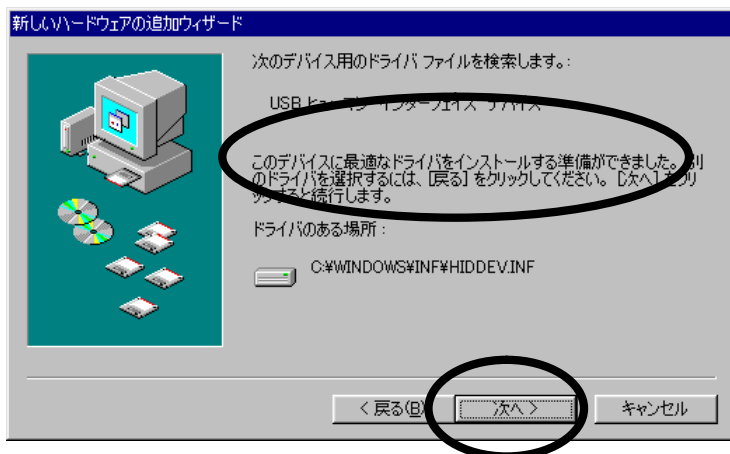


g) チェックマークは付けずに、「次へ」ボタンをクリックします。

このとき、Windows オペレーティングシステムの CD-ROM を要求される場合があります。その場合は画面の指示に従ってください。



h) 「このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができました。」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。



- i) 「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックします。これでインストールは完了です。



なお、このインストール手順の c ~ i は、2回繰り返される場合があります。

- j) 「デバイス マネージャ」に、次のように表示されているか確認します。

- ・「キーボード」に「HID 互換キーボード」(または同様の表示)
- ・「ヒューマン インターフェイス デバイス」に「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」(または同様の表示)

※これらの表示は、スキャナを接続している間だけ表示されます。



(2) 読取テスト

文字入力できるアプリケーション(メモ帳など)を起動して、次のテストバーコードを読み取ります。



カーソルの位置に「12345」と入力されていればテスト OK です。セットアップは完了しました。

この後、必要に応じて、各種パラメータを設定してください。

※手順 1 の j で「デバイス マネージャ」に必要な項目が表示されているにもかかわらずスキヤナが動作しない、または動作はするが読み取ったデータが表示されない場合は、スキヤナのケーブルを PC から一旦抜いて、再度差し込んでください。

操作方法

〈スリムペン〉のスキヤナ部を手で持ち、読み取りたいバーコードの上を、端から端まで軽くなぞります。強く押し付ける必要はありませんが、なぞっている途中でペン先が浮かないように気をつけてください。バーコードの左右どちらからなぞっても読み取れます。バーコードを解読すると、デコーダ部に内蔵されているブザーが1回鳴ります。

読み取るコツ

- 左右の余白部分もなぞる。
 - バーコードの解読には、余白部分も重要です。なぞり始めやなぞり終わりがバーコードのすぐ脇だと、バーコードとして解読できない場合があります。



良い例



悪い例

- 左右とも十分な余白をなぞっていれば、バーコードの上を斜めになぞっても読み取ることができます。



良い例



悪い例

- なぞっている途中で、速度を変えない。
 - 素早くなぞるほうが、速度を一定に保ちやすいです。
 - 左右の余白部分でなぞるのを止めようとする、なぞっている途中で速度が変わりがちです。うまく読み取れないときは、左右の余白を多めになぞるようにしてみてください。
- スキヤナ部を寝かせ気味にしてなぞる。
 - バーコードに対して垂直にするよりも、45°程度に寝かせ気味にしたほうが、読み取りの感度が良くなります。

設定手順

- 1) 変更したいパラメータの記載されているページを開きます。
 - 2) 変更したいパラメータの設定バーコードを読み取ります。ブザーが「ピーピッ」と 2 回鳴り、設定変更が保存されます。
(一部のパラメータでは、ブザーの鳴り方が異なります。)
 - 3) 複数のパラメータを変更する場合は、1～3を同様に繰り返します。
- ※ 設定内容がわからなくなってしまった場合は、一度『出荷時設定』に戻してから、必要に応じてパラメータを変更してください。
- ※ パラメータによっては、複数の設定バーコードを順番に読み取って設定するものがあります。順番を間違えると、「プププッ」と短いブザーが 4 回鳴ります。

設定を中止するには

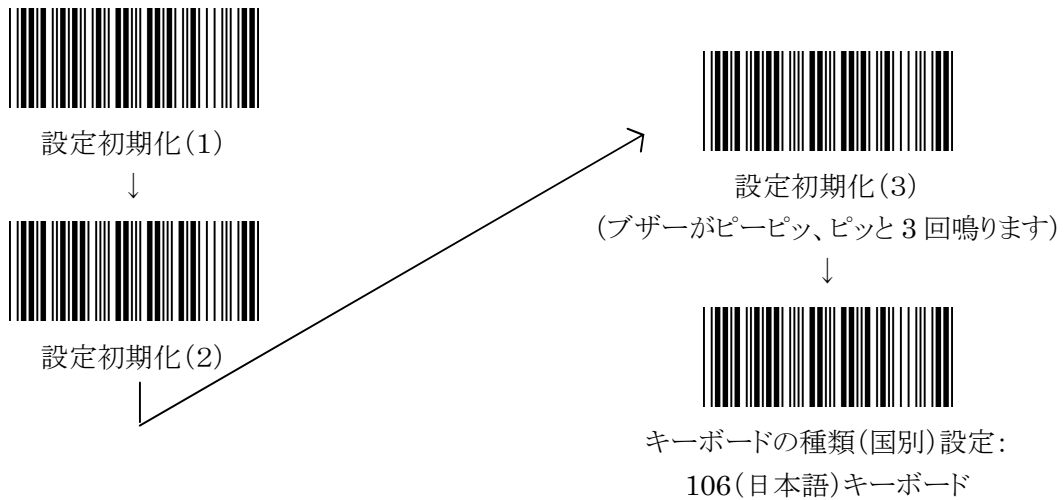


設定中止

複数のバーコードを使用する設定の途中で、設定を中止して終了する場合に読み取ります。この設定バーコードを読み取ると、<スリムペン>の設定は『設定開始』を読取る前の状態に戻ります。

出荷時設定

<スリムペン>SP7UB シリーズを出荷時設定に戻すには、次の 4 つの設定バーコードを左上から順に読み取ります。



※ 設定バーコードで、下線のついている項目は、上記出荷時設定を行なったときに設定される項目です。

キーボードインタフェースの各種設定

キーボード種類(国別)設定



※その他の言語のキーボードについては、巻末に記載の弊社担当窓口までお問い合わせください。

Caps Lock の設定

『ON』に設定すると、バーコードデータのアルファベットの大文字を小文字に、小文字を大文字に変換します。PC の Caps Lock が ON になっていて、データの大文字と小文字とが逆になってしまう場合に有効です。



読取動作の設定

バーコード間ディレイ時間の設定

PC/ホスト機器の受信処理が遅い場合、バーコード読み取り後にディレイ(遅延)を発生させることで確実にデータを送信する機能です。『ディレイなし』以外に設定した場合、バーコード読み取り後、設定された時間が経過するまで<スリムペン>はバーコード読み取りを行いません。



バーコード間ディレイなし



ディレイ 0.1 秒



ディレイ 0.5 秒

キャラクタ間ディレイ時間の設定

PC/ホスト機器の受信処理が遅い場合、1つ1つのキャラクタ送信間にディレイ(遅延)を発生させることで確実にデータを送信する機能です。



キャラクタ間ディレイ最短



ディレイ 16 ミリ秒



ディレイ 1 ミリ秒

読み取り時ブザー音程の設定



高



中



低



2音(高→低)



2音(低→高)



無音

データフォーマットの設定

はじめに

<スリムペン>は、ターミネータ(終端文字)の他に、任意のキャラクタをデータの前後に付加することができます。

プリフィックス(データ前に付加するキャラクタ)およびサフィックス(データ後に付加するキャラクタ)を、それぞれ最大16文字ずつ設定できます。

また、JIS X 0530:2003 に準拠したデータキャリア識別子またはユーザ設定の独自コード ID を付加することができます。

データに対するターミネータ、プリフィックス、サフィックスおよびデータキャリア識別子(またはコード ID)の付加位置は次の通りです:

[プリフィックス] [データキャリア識別子] [データ] [サフィックス] [ターミネータ]

プリフィックス／サフィックスの設定

プリフィックス(データ前に付加するキャラクタ)およびサフィックス(データ後に付加するキャラクタ)を、それぞれ最大 16 文字ずつ設定できます。

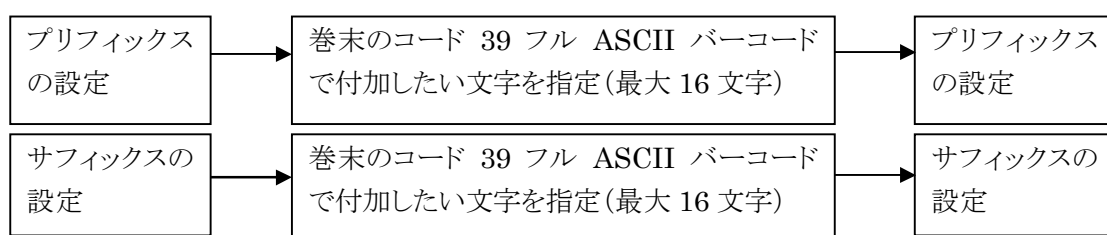
設定方法

プリフィックスを設定する場合、『プリフィックスの設定』バーコードに続いて、巻末の『附属書3. コード 39 フル ASCII バーコード』にて、プリフィックスに設定したいキャラクタのバーコードを読み取ります。最大 16 キャラクタまで設定できます。

付加したいキャラクタをすべて読み取り終えたら、再度『プリフィックスの設定』バーコードを読み取ります。

プリフィックスを設定後、何も付加しない設定に戻すには、『プリフィックスの設定』を連続して 2 回読み取ります。

サフィックスを設定する場合の手順も同様です。



プリフィックスおよびサフィックスの両方を何も付加しない設定にするには、『プリフィックス／サフィックスの一括削除』バーコードを読み取ります。



プリフィックスの設定



プリフィックス／サフィックスの一括削除



サフィックスの設定

データキャリア識別子の付加

JIS X 0530:2003 に準拠したデータキャリア識別子を付加することができます。



JIS 準拠のデータキャリア識別子を付加する



データキャリア識別子を付加しない

データキャリア識別子とは…

バーコードリーダが、読取ったデータを PC/ホスト機器に送信する際に付加する ID で、シンボル体系の種類その他、チェックキャラクタを検証したかどうか、送信データにはチェックキャラクタが含まれるのか含まれないのか、などの情報を表します。2000 年に ISO/IEC 15424 Data Carrier Identifiers (including Symbology Identifiers) として制定された国際規格で、日本では 2003 年に JIS X 0530 『データキャリア識別子(シンボル体系識別子を含む)』として JIS 規格化されました。

例) コード 39 の”C+O+D+E39”というバーコードを読み取り、データキャリア識別子を付加して送信する場合:

1. フル ASCII 処理をしないでデータ送信…]A0C+O+D+E39
2. フル ASCII 処理してデータ送信……………]A4Code39

データキャリア識別子の内容:

] : データキャリア識別子を示すフラグ

A : コード 39 を示すコードキャラクタ

0 : 『チェックキャラクタ検証もフル ASCII 処理もしない』ことを示す変更子キャラクタ

4 : 『フル ASCII キャラクタ変換を実行/チェックキャラクタは検証しない』ことを示す変更子キャラクタ

※ 詳しくは、JIS X 0530 『データキャリア識別子(シンボル体系識別子を含む)』をご参照ください。

ターミネータ(終端文字)の設定



ターミネータなし



Enter



Tab



Esc



Space(空白)

(編集の都合上、このページは空白です)

読取バーコードシンボル体系の設定

すべてのシンボル体系



すべてのシンボル体系を有効にする



すべてのシンボル体系を無効にする

JAN/EAN 13桁



JAN/EAN 13桁有効



JAN/EAN 13桁無効

JAN/EAN 8桁



JAN/EAN 8桁有効



JAN/EAN 8桁無効

UPC-A



UPC-A 有効



UPC-A 無効

UPC-E



UPC-E 有効



UPC-E 無効

コード 39



コード 39 有効



コード 39 無効

コーダバー(NW7)



コーダバー (NW7) 有効



コーダバー (NW7) 無効

インタリーブド 2 オブ 5



インタリーブド 2 オブ 5 有効



インタリーブド 2 オブ 5 無効

インダストリアル 2 オブ 5



インダストリアル 2 オブ 5 有効



インダストリアル 2 オブ 5 無効

マトリクス 2 オブ 5



マトリクス 2 オブ 5 有効



マトリクス 2 オブ 5 無効

コード 128



コード 128 有効



コード 128 無効

コード 93



コード 93 有効



コード 93 無効

コード 11



コード 11 有効



コード 11 無効

MSI



MSI 有効



MSI 無効

UK PLESSY



UK PLESSY 有効



UK PLESSY 無効

TELEPEN



TELEPEN 有効



TELEPEN 無効

コード 32



コード 32 有効



コード 32 無効

JAN/EAN 13 桁の詳細設定

JAN/EAN 13 桁



JAN/EAN 13 桁有効



JAN/EAN 13 桁無効

JAN/EAN 13 桁チェックキャラクタの送信

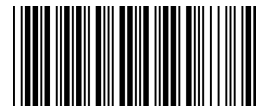


チェックキャラクタを送信する



チェックキャラクタを送信しない

アドオンの設定



JAN/EAN 13 桁アドオン 5 桁 有効



JAN/EAN 13 桁アドオン 5 桁 無効



JAN/EAN 13 桁アドオン 2 桁 有効



JAN/EAN 13 桁アドオン 2 桁 無効



アドオン有効時、アドオン必須



アドオン有効時、アドオン必須にしない

JAN/EAN 8 桁の詳細設定

JAN/EAN 8 桁



JAN/EAN 8 桁有効



JAN/EAN 8 桁無効

JAN/EAN 8 桁チェックキャラクタの送信



チェックキャラクタを送信する



チェックキャラクタを送信しない

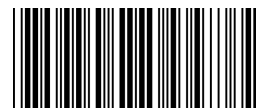
アドオンの設定



JAN/EAN 8 桁アドオン 5 桁 有効



JAN/EAN 8 桁アドオン 5 桁 無効



JAN/EAN 8 桁アドオン 2 桁 有効



JAN/EAN 8 桁アドオン 2 桁 無効



アドオン有効時、アドオン必須



アドオン有効時、アドオン必須にしない

UPC-A の詳細設定

UPC-A



UPC-A 有効



UPC-A 無効

UPC-A チェックキャラクタの送信



UPC-A チェックキャラクタを送信する



チェックキャラクタを送信しない

UPC-A 先頭キャラクタの送信



先頭キャラクタを送信する



先頭キャラクタを送信しない

アドオンの設定



UPC-A アドオン 5桁 有効



UPC-A アドオン 5桁 無効



UPC-A アドオン 2桁 有効



UPC-A アドオン 2桁 無効



アドオン有効時、アドオン必須



アドオン有効時、アドオン必須にしない

UPC-E の詳細設定

UPC-E



UPC-E 有効



UPC-E 無効

先頭が 0 の UPC-E の読取り



先頭が 0 の UPC-E 有効



先頭が 0 の UPC-E 無効

UPC-E チェックキャラクタの送信



チェックキャラクタを送信する



チェックキャラクタを送信しない

先頭が 1 の UPC-E の読取り



先頭が 1 の UPC-E 有効



先頭が 1 の UPC-E 無効

UPC-E 先頭キャラクタの送信



先頭キャラクタを送信する



先頭キャラクタを送信しない

アドオンの設定



UPC-E アドオン 5桁 有効



UPC-E アドオン 5桁 無効



UPC-E アドオン 2桁 有効



UPC-E アドオン 2桁 無効



アドオン有効時、アドオン必須



アドオン有効時、アドオン必須にしない

JAN/EAN/UPC 変換

UPC-E→UPC-A 変換



UPC-E→UPC-A 変換 有効



UPC-E→UPC-A 変換 無効

UPC-A→EAN 13 桁変換



UPC-A→EAN 13 桁変換 有効



UPC-A→EAN 13 桁変換 無効

JAN/EAN 13 桁→ISBN 変換



JAN/EAN 13 桁→ISBN 変換 有効



JAN/EAN 13 桁→ISBN 変換 無効

JAN/EAN 13 桁→ISSN 変換



JAN/EAN 13 桁→ISSN 変換 有効



JAN/EAN 13 桁→ISSN 変換 無効

コード 39 の詳細設定

コード 39



コード 39 有効



コード 39 無効

フル ASCII 変換



フル ASCII 変換する



フル ASCII 変換しない

スタート/ストップキャラクタ (* :アスタリスク)の送信



送信する



送信しない

チェックキャラクタ



チェックキャラクタ照合しない



チェックキャラクタ照合して送信



チェックキャラクタ照合するが送信しない

コード 39 読取り桁数の設定

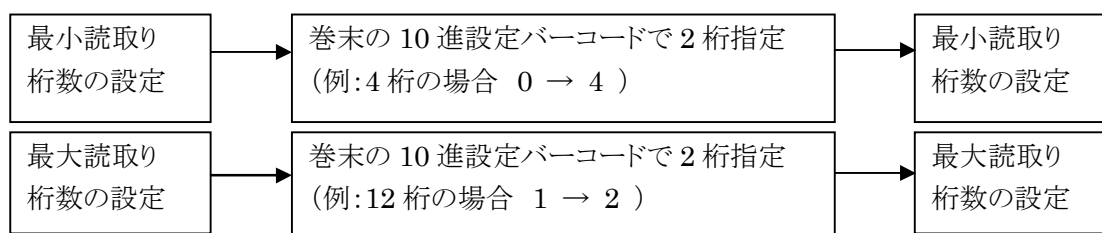
設定手順：最小読取り桁数を設定する場合：

1. 『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ります。
2. 巻末の『10進設定バーコード』で、設定したい桁数を2桁で読取ります。
3. 再び『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ると設定完了です。

※ 最大読取り桁数も、同様に設定します。

※ 最小桁数と最大桁数とを同じ桁数に設定すると、固定桁数に設定できます。

※ 最小桁数を最大桁数より大きく設定したり、最大桁数を最小桁数より小さく設定しないようご注意ください。



コード 39 最小読取り桁数の設定
(初期設定値:01)



コード 39 最大読取り桁数の設定
(初期設定値:48)

10進設定バーコード



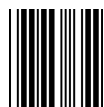
0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

コーダバー(NW7)の詳細設定

コーダバー(NW7)



コーダバー (NW7) 有効



コーダバー (NW7) 無効

チェックキャラクタ



チェックキャラクタ照合しない



チェックキャラクタ照合して送信



チェックキャラクタ照合するが送信しない

スタート/ストップキャラクタの送信



送信する



送信しない

スタート/ストップキャラクタのフォーマット



A,B,C,D/A,B,C,D



a.b.c.d/a.b.c.d



A,B,C,D/T.N.*.E



a.b.c.d/t.n.*.e

コーダバー読取り桁数の設定

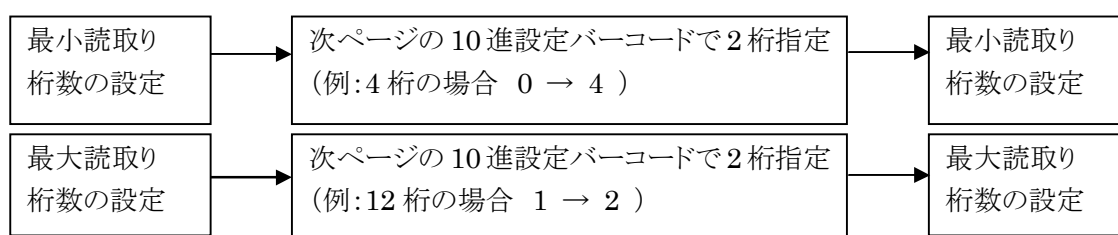
設定手順：最小読取り桁数を設定する場合：

1. 『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ります。
2. 次ページの『10進設定バーコード』で、設定したい桁数を2桁で読取ります。
3. 再び『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ると設定完了です。

※ 最大読取り桁数も、同様に設定します。

※ 最小桁数と最大桁数とを同じ桁数に設定すると、固定桁数に設定できます。

※ 最小桁数を最大桁数より大きく設定したり、最大桁数を最小桁数より小さく設定しないようご注意ください。



コーダバー最小読取り桁数の設定
(初期設定値:06)



コーダバー最大読取り桁数の設定
(初期設定値:48)

10進設定バーコード



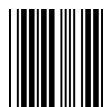
0



1



2



3



4



5



6



7



8



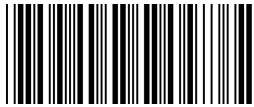
9

インタリーブド 2 オブ 5 の詳細設定

インタリーブド 2 オブ 5

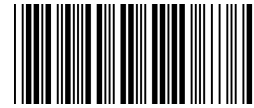


インタリーブド 2 オブ 5 有効

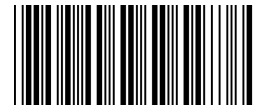


インタリーブド 2 オブ 5 無効

チェックキャラクタ



チェックキャラクタ照合しない



チェックキャラクタ照合して送信



チェックキャラクタ照合するが送信しない

インタリーブド 2 オブ 5 読取り桁数の設定

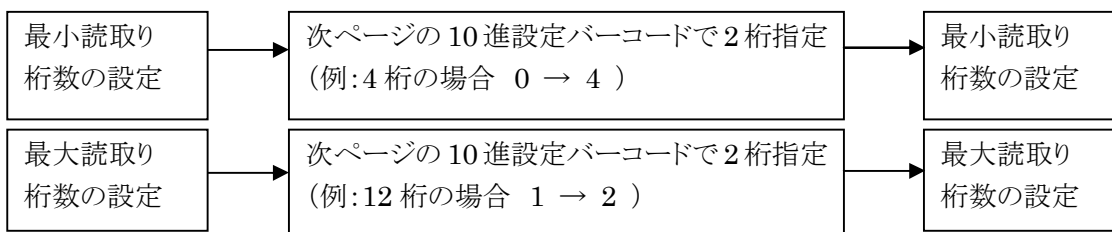
設定手順：最小読取り桁数を設定する場合：

1. 『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ります。
2. 次ページの『10進設定バーコード』で、設定したい桁数を 2 桁で読取ります。
3. 再び『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ると設定完了です。

※ 最大読取り桁数も、同様に設定します。

※ 最小桁数と最大桁数とを同じ桁数に設定すると、固定桁数に設定できます。

※ 最小桁数を最大桁数より大きく設定したり、最大桁数を最小桁数より小さく設定しないようご注意ください。



Int25 最小読取り桁数の設定
(初期設定値:06)



Int25 最大読取り桁数の設定
(初期設定値:48)

10進設定バーコード



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

インダストリアル 2 オブ 5 の詳細設定

インダストリアル 2 オブ 5



インダストリアル 2 オブ 5 有効



インダストリアル 2 オブ 5 無効

チェックキャラクタ



チェックキャラクタ照合しない



チェックキャラクタ照合して送信



チェックキャラクタ照合するが送信しない

インダストリアル 2 オブ 5 読取り桁数の設定

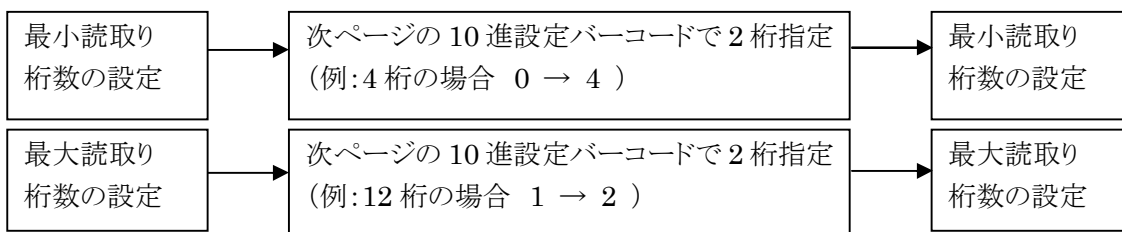
設定手順：最小読取り桁数を設定する場合：

1. 『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ります。
2. 巻末の『10進設定バーコード』で、設定したい桁数を2桁で読取ります。
3. 再び『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ると設定完了です。

※ 最大読取り桁数も、同様に設定します。

※ 最小桁数と最大桁数とを同じ桁数に設定すると、固定桁数に設定できます。

※ 最小桁数を最大桁数より大きく設定したり、最大桁数を最小桁数より小さく設定しないようご注意ください。

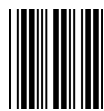


Ind25 最小読取り桁数の設定
(初期設定値:06)



Ind25 最大読取り桁数の設定
(初期設定値:48)

10進設定バーコード



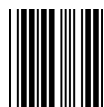
0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

マトリクス 2 オブ 5 の詳細設定

マトリクス 2 オブ 5



マトリクス 2 オブ 5 有効



マトリクス 2 オブ 5 無効

チェックキャラクタ



チェックキャラクタ照合しない



チェックキャラクタ照合して送信



チェックキャラクタ照合するが送信しない

マトリクス 2 オブ 5 読取り桁数の設定

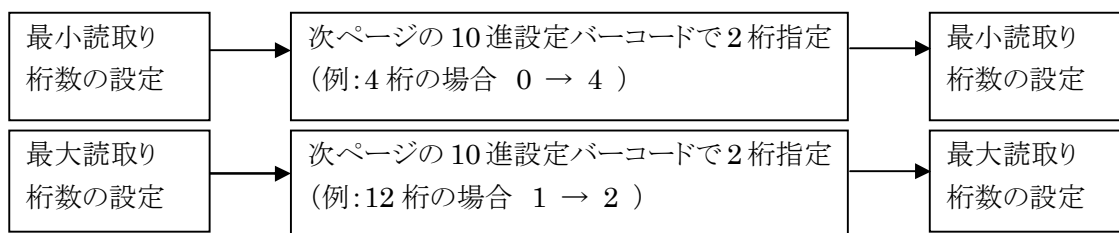
設定手順：最小読取り桁数を設定する場合：

1. 『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ります。
2. 次ページの『10進設定バーコード』で、設定したい桁数を2桁で読取ります。
3. 再び『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ると設定完了です。

※ 最大読取り桁数も、同様に設定します。

※ 最小桁数と最大桁数とを同じ桁数に設定すると、固定桁数に設定できます。

※ 最小桁数を最大桁数より大きく設定したり、最大桁数を最小桁数より小さく設定しないようご注意ください。

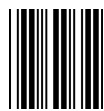


M25 最小読取り桁数の設定
(初期設定値:06)



M25 最大読取り桁数の設定
(初期設定値:48)

10進設定バーコード



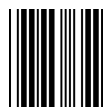
0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

コード 128 の詳細設定

コード 128



コード 128 有効



コード 128 無効

UCC/EAN-128



UCC/EAN-128 有効



UCC/EAN-128 無効

コード 128 読取り桁数の設定

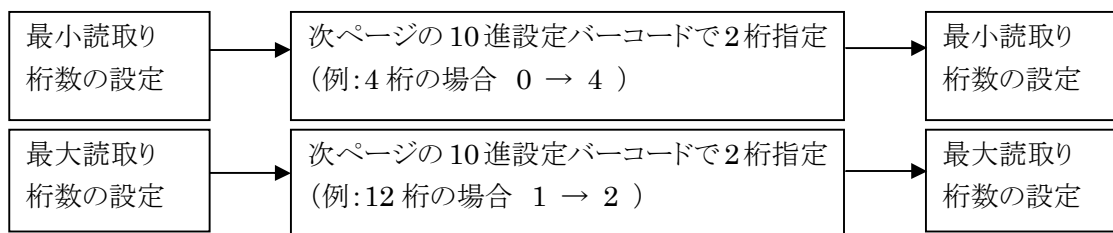
設定手順：最小読取り桁数を設定する場合：

1. 『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ります。
2. 次ページの『10進設定バーコード』で、設定したい桁数を2桁で読取ります。
3. 再び『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ると設定完了です。

※ 最大読取り桁数も、同様に設定します。

※ 最小桁数と最大桁数とを同じ桁数に設定すると、固定桁数に設定できます。

※ 最小桁数を最大桁数より大きく設定したり、最大桁数を最小桁数より小さく設定しないようご注意ください。



コード 128 最小読取り桁数の設定
(初期設定値：05)



コード 128 最大読取り桁数の設定
(初期設定値:48)

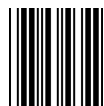
10進設定バーコード



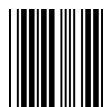
0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

UCC/EAN 128 出力データ編集機能

概要

<スリムペン>では、UCC/EAN 128 バーコードのデータを編集してPC/ホスト機器へ転送することができます。データ編集方法は4通りあります。以下に、サンプルを使って簡単に説明します。



(01) 0 4560151 18000 7 (10) ABC (30) 100

このバーコードを読取ったとき、標準状態で何もデータ編集せずに出力する場合、キーボードインタフェースでの転送データは次のようになります：

010456015118000710ABC30100 <Enter>

元データにはキャラクタ”C”の後にデータ区切りを表す<FNC1>があります。

データ区切りの<FNC1>の部分は<GS>を転送することになっていますが、キーボードインタフェースでは<GS>に対応するキーボード信号がないため何も転送されず、データ区切り位置が判らなくなっています。

データ編集機能を利用すると、キーボードインタフェースでもデータ区切り位置を確認できます。

- 1) 可読文字(ヒューマンリーダブル)のように、AIを括弧でくくって出力：

(01)04560151180007(10)ABC(30)100<Enter>

- 2) AIを削除して、データ部分のみ出力：

04560151180007ABC100 <Enter>

- 3) AIは転送せず、各データにサフィックスを付加して出力：

例：データサフィックスに『,』(カンマ)を設定

04560151180007,ABC,100, <Enter>

- 4) <FNC1>を任意のキャラクタに変更して出力：

例:<FNC1>を『,』(カンマ)に変更

010456015118000710ABC,30100<Enter>

UCC/EAN-128 の AI に括弧を付加して出力



括弧を付加する



括弧を付加しない

UCC/EAN-128 の AI を削除して出力



AI を削除する



AI を削除しない

UCC/EAN-128 データ区切り FNC1 出力



FNC1 出力する



FNC1 出力しない

※ この項目は、前項『UCC/AEN-128 の AI に括弧を付加して出力』で『括弧を付加する』に設定しているときのみ有効です。

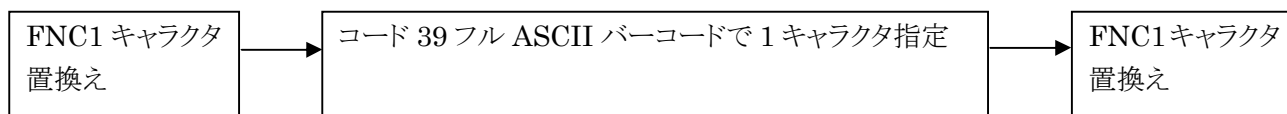
UCC/EAN-128 データ区切り FNC1 を任意のキャラクタへ置換え



FNC1 キャラクタ置換え

設定手順：

1. 『FNC1 キャラクタ置換え』バーコードを読取ります。
2. 巻末の『コード 39 フル ASCII バーコード』で、設定したいキャラクタを 1 文字読取ります。
3. 再び『FNC1 キャラクタ置換え』バーコードを読取ると設定完了です。



置換えキャラクタをデータサフィックスに設定

AI を取り除き、前項で設定したキャラクタを、FNC1 の有無に関わらず各データの末尾に付加することができます。



データサフィックスに設定する



データサフィックスに設定しない

保守メニュー

ファームウェアのバージョン確認



バージョン確認

『バージョン確認』バーコードを読取ると、ファームウェアのバージョンが、データとしてスキヤナから転送されます。
※この取扱説明書は、ファームウェアバージョン『AMC-a-1.04』以降に対応しています。

附属書1. コード 39 フル ASCII 対応表

Hex	ASCII	コード 39
00	NUL	%U
01	SOH	\$A
02	STX	\$B
03	ETX	\$C
04	EOT	\$D
05	ENQ	\$E
06	ACK	\$F
07	BEL	\$G
08	BS	\$H
09	HT	\$I
0A	LF	\$J
0B	VT	\$K
0C	FF	\$L
0D	CR	\$M
0E	SO	\$N
0F	SI	\$O
10	DLE	\$P
11	DC1	\$Q
12	DC2	\$R
13	DC3	\$S
14	DC4	\$T
15	NAK	\$U
16	SYN	\$V
17	ETB	\$W
18	CAN	\$X
19	EM	\$Y
1A	SUB	\$Z
1B	ESC	%A
1C	FS	%B
1D	GS	%C
1E	RS	%D
1F	US	%E

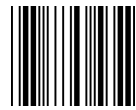
Hex	ASCII	コード 39
20	(空白)	(空白)
21	!	/A
22	“	/B
23	#	/C
24	\$	/D
25	%	/E
26	&	/F
27	‘	/G
28	(/H
29)	/I
2A	*	/J
2B	+	/K
2C	,	/L
2D	-	-
2E	.	.
2F	/	/
30	0	0
31	1	1
32	2	2
33	3	3
34	4	4
35	5	5
36	6	6
37	7	7
38	8	8
39	9	9
3A	:	/Z
3B	;	%F
3C	<	%G
3D	=	%H
3E	>	%I
3F	?	%J

(続き)

Hex	ASCII	コード 39
40	@	%V
41	A	A
42	B	B
43	C	C
44	D	D
45	E	E
46	F	F
47	G	G
48	H	H
49	I	I
4A	J	J
4B	K	K
4C	L	L
4D	M	M
4E	N	N
4F	O	O
50	P	P
51	Q	Q
52	R	R
53	S	S
54	T	T
55	U	U
56	V	V
57	W	W
58	X	X
59	Y	Y
5A	Z	Z
5B	[%K
5C	¥	%L
5D]	%M
5E	^	%N
5F	_	%O

Hex	ASCII	コード 39
60	`	%W
61	a	+A
62	b	+B
63	c	+C
64	d	+D
65	e	+E
66	f	+F
67	G	+G
68	h	+H
69	i	+I
6A	j	+J
6B	k	+K
6C	l	+L
6D	m	+M
6E	n	+N
6F	o	+O
70	p	+P
71	q	+Q
72	r	+R
73	s	+S
74	t	+T
75	u	+U
76	v	+V
77	w	+W
78	x	+X
79	y	+Y
7A	z	+Z
7B	{	%P
7C		%Q
7D	}	%R
7E	~	%S
7F	DEL	%T

附属書2. コード 39 フル ASCII バーコード



NUL



SOH



STX



ETX



EOT



ENQ



ACK



BEL



BS



HT



LF



VT



FF



CR



SO



SI



DLE



DC1



DC2



DC3



DC4

(続き)



NAK



SYN



ETB



CAN



EM



SUB



ESC



FS



GS



RS



US



(空白)



!



“



#



\$



%



&



'



(



)

(続き)



*



+



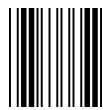
,



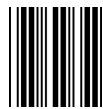
-



.



/



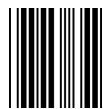
0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



:



;



<



=



>



?

(続き)



@



A



B



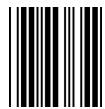
C



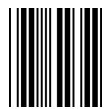
D



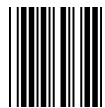
E



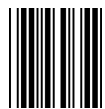
F



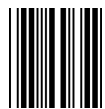
G



H



I



J



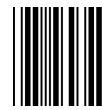
K



L



M



N



O



P



Q



R



S



T



U

(続き)



V



W



X



Y



Z



[



¥



]



^



-



`



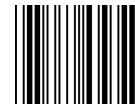
a



b



c



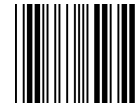
d



e



f



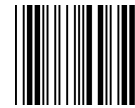
g



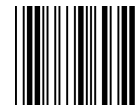
h



i



j



k

(続き)



l



m



n



o



p



q



r



s



t



u



v



w



x



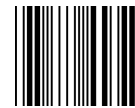
y



z



{



|



}



~



DEL

(編集の都合上、このページは空白です)



日栄インテック株式会社

開発事業部バーコードグループ

〒110-0016

東京都台東区台東 3-42-5

日栄インテック御徒町第2ビル

TEL 03-5816-7141

FAX 03-5816-7140

E-Mail info@barcode.ne.jp

URL <http://www.barcode.ne.jp/>

2010年12月